

# 連合胆江 NEWS

連合岩手胆江地域協議会  
発行責任者 高橋清明  
発行日 2023年1月16日  
2023年 NO. 2

TEL 0197 (22) 5505 fax 0197(22) 6577 E-mail : [tanko@iwate.jtuc-rengo.jp](mailto:tanko@iwate.jtuc-rengo.jp)

## 「賃上げ実現・くらし支援 あしたを変える連合緊急アクション」

### 奥州市・金ヶ崎町に「生活困窮者支援に関する緊急要請」

私たち働く者・生活者のくらしは、長期化しているコロナ禍に物価上昇が加わり、さらなる影響を受けています。コロナ禍の教訓を生かし、弱い立場・不安定な立場にあるなど物価上昇の影響が特に大きい低所得者等への支援を急ぐ必要があります。

連合本部は11月8日、国に対して、連合岩手は12月20日、県に対して物価上昇局面における総合的な対策等の要請を行っています。

また、連合岩手は各地協を通して、各自治体へ「生活困窮者支援に関する緊急要請」を行っています。胆江地協も奥州市・金ヶ崎町に緊急要請を行いました。



12月26日（月）16:00～金ヶ崎町役場  
佐藤昭文副議長から  
高橋寛寿金ヶ崎町長への要請



1月13日（金）9:30～奥州市役所本庁  
石ヶ森大河副議長から  
倉成 淳奥州市長への要請

#### 【要請項目】

- 生活困窮者自立支援制度の支援機関について、人員体制の拡充や財政支援などにより伴走型の相談業務を強化する。
- 自立して生活していくための基盤である住居を失った人や失う恐れのある人に対し、家賃補助や「住まい」の現物サービスなど支援策を講じる。

- 生活困窮者を支援する労働者福祉団体やNPO法人などに対する財政支援を行う。
- 貧困の連鎖に陥ることのないよう、子どもの貧困対策として、経済的支援、就労支援、食事支援、生活支援、学習支援などを包括的に行う。とりわけ、ひとり親家庭の課題を把握して、母子・父子自立支援員を中心としたアウトリーチ型の相談支援体制を強化する。
- 「子ども食堂」が子どもや子育ての地域の中での居場所となるよう、地域と連携できるように支援する。運営にあたっては、地域の誰もが利用できるよう配慮する。

懇談の中では、つぎのような取り組みを紹介していただきました

金ヶ崎町から

- ・ 9月から10月にかけて支給した「かねがさき子育て世帯臨時特別支援金」に続き、コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響を受ける子育て世帯の負担軽減を図るためかねがさき子育て世帯臨時特別支援金（いわて子育て世帯臨時特別支援金）の支給については、多くの場合は申請を不要として、ほぼ支給が終わっています。
- ・ 燃料費補助を開始します。
- ・ 住環境についても若年者移住定住促進家賃補助金として町独自の補助を行っています。
- ・ 子ども食堂に関しては、社会福祉協議会が中心となって実施しております。
- ・ 小中学校の給食費無料を2023年度から実施します。

奥州市から

- ・ 伴走型の相談については、現在メイプルに、「暮らし安心応援室」を開設しておりますし、その委託料についても増額したところです。
- ・ 非課税世帯に対しては、燃料費補助として、県からの3千円を含め8千円を支給いたしております。
- ・ 貧困や病気などが重なって、社会で孤立化しないよう、県南振興局と連携して、相談員の派遣を行っています。
- ・ 子ども食堂に関しては、立ち上げは市がお世話をさせていただき、運営は社会福祉協議会が主に行っています。今後は、各団体との横の連携が求められることになるかと思われます。

要請に同行していただいた方々

【金ヶ崎町】 金ヶ崎町職員労働組合 執行委員長 及川 博 様

【奥州市】 奥州市議会 議長 菅原 由和 様

奥州市議会 議員 佐々木友美子 様

自治労奥州市職員労働組合 執行委員長 佐藤 龍裕 様

ご協力に感謝申し上げます。